



最強ユニットと呼び声高き

# AKB48からの新ユニット Not yet が衝撃デビュー

秋元康プロデュース

フューチャーレーベルNot yetデビュー曲「週末Not yet」が配信初日、着うた®配信サイトにて、着うた®、着うたフル®、RBT(リングバックトーン)のデイリー・チャート第1位を獲得。女性アーティストによる3冠獲得は史上初の快挙となりました。さらに初週オリコンウィークリー・チャート初登場第1位も獲得するなど、デビュー直後から衝撃続きのNot yet。

また、待望の2ndシングル「波乗りかき氷」が2011年7月6日に発売決定。「夏といえば、この曲」というような、夏の名曲になること間違いなしです。



## 「Not yet」

は、2010年AKB48選抜総選挙で1位を獲得し、同年のAKB48ブレイクの立役者となった“変幻自在のエンターテイナー”「大島優子」、AKB48海外公演にも多数出演した正統派美少女“夢見る名古屋嬢”「北原里英」、次世代AKB48のエースとの期待も高いバラエティ担当「指原莉乃」、努力家ぶりはメンバーのお墨付き、研究生から急遽大抜擢された「横山由依」の4人が織り成す個性派ユニット。「歌もダンスも、“まだまだ” だけど、一生懸命に頑張る実物大の4人」をコンセプトに結成。さらなる成長力に大きな期待が寄せられる、彼女たちの今後の活躍にぜひご期待ください。

「週末Not yet」発売中。  
着うたフル®でも好評配信中。

もちろん、携帯電話からの楽曲ダウンロードにも対応しています。ここ(QRコード)から早速、ダウンロードしてお聞きください!



## 「コネクティングカード」も充実の12種類

ファンとアーティストをつなげる(コネクト)ための多様なサービスの 일환として、「コネクティングカード(通称コネカ)」の提供を開始。デビュー曲CDの初回盤に全12種類(初回盤3タイプ×各4種類)のうち1種類のコネカをランダムに封入。カードの種類に応じて視聴できるコンテンツも12種類用意しました。ファンにはたまらない特典として反響を呼んでいます。



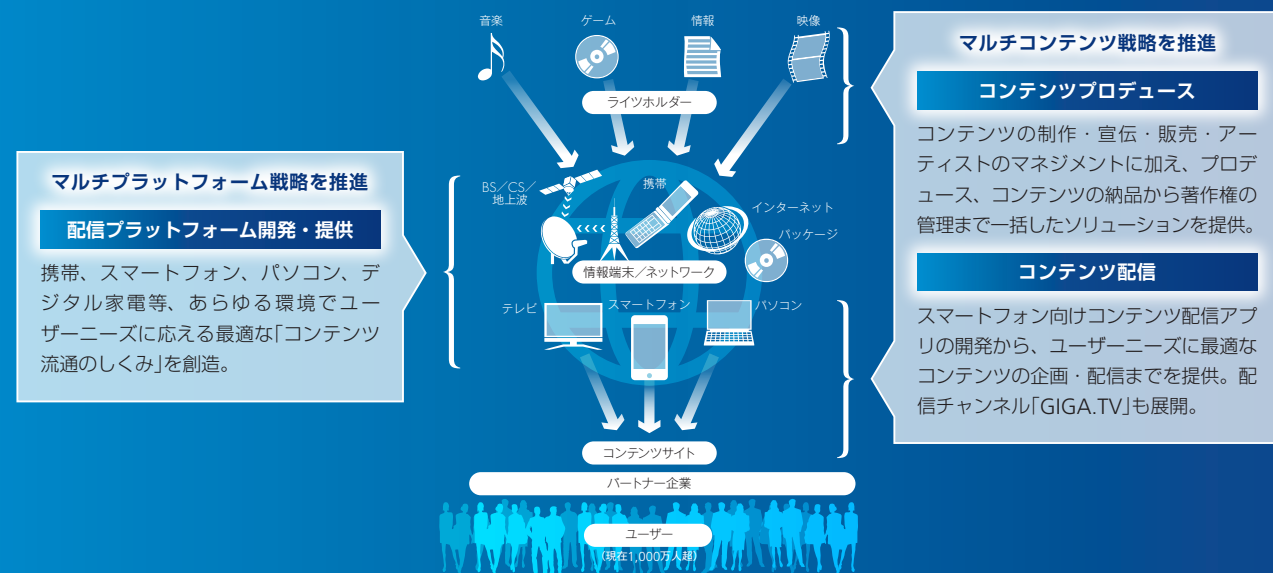
## 株式会社フェイス 第19期営業のご報告

Faith, Inc. Annual Report  
(2010.4.1—2011.3.31)



Faith to Face  
いい顔に逢いたくて。

# コンテンツの流通を最適化するマルチコンテンツ& マルチプラットフォーム



## 既存モデルを変革し、その先にある 新たなビジネススキームの創出を目指す

コンテンツ市場では、パソコン・携帯・ゲーム機・テレビ、さらに新しい情報端末がネットワークに接続され、様々な環境でコンテンツを楽しむことが可能となっています。また、新しいサービスも次々と出現し、情報伝達手段やユーザーニーズの多様化・細分化が加速しており、数年後には従来型のビジネスモデルでは対応できなくなると予想されます。そこで、製造・流通等のチャンネルに分割された従来型のビジネスモデルに対し、すべてのチャンネルを一貫して、ひとつのサービスとして提供する、まったく新しいビジネススキームの創出を進めています。

## 企画プロデュースから設計・構築、 ユーザー配信まで全方位展開

コンテンツビジネスの変革期にある今、「新たなコンテンツ流通のしくみ」の構築が重要であると認識し、新しいビジネススキームの創出を加速しています。多様な業界とのアライアンスとグループシナジーを活かし、自社でのコンテンツ制作をはじめ、コンテンツ権利者との提携による企画プロデュース、配信プラットフォームの設計・構築、ユーザー向けサービスの運営までをワンストップ化。現在、その実現に向け、ネットワークや情報端末にとらわれず、様々なコンテンツを横断的に提供する「マルチコンテンツ& マルチプラットフォーム戦略」を推し進めています。

## 当期のPICK UP

**1 映像コンテンツのプロデュース**  
フェイス・ワンダワークスが東宝等と共同製作した映画「告白」が大ヒットを記録。

フェイス・ワンダワークスが、東宝等と共同製作した大ヒット映画「告白」は、観客動員数は約300万人、興行収入38億円を突破。第34回 日本アカデミー賞にて最優秀作品賞、最優秀脚本賞等を受賞し、米国アカデミー賞・外国語映画部門の日本代表作品に選出されました。

**2 新しい音楽コンテンツ流通の創造**  
新レーベル「Future」がスタート  
「360°戦略」による楽曲の配信・制作・販売を開始

CD、DVDの流通のみに依存せず、新たな音楽コンテンツ配信市場を創造すべく音楽レーベル「Future」を立ち上げました。ユーザーが必要とするアーティストとの接点をあらゆる角度から提供する「360°戦略」を推進、新たなしくみや場を創出してまいります。

**3 新しい音楽コンテンツ流通の創造**  
「コネクティングカード」からお気に入りのアーティストへ直結

アーティスト、アイドルユニット等のビジュアルを用い、それぞれに固有のIDが振られた「コネクティングカード」を開始。カードから保有者を対象とした専用サイトに誘導することで、様々なコンテンツへのアクセスを可能にし、アーティストとユーザーとの接点を最大化する従来にないサービスです。

**4 新しい映像コンテンツ流通の創造**  
携帯やテレビで、動画コンテンツの購入・視聴ができる「GIGA.TV」が三菱液晶テレビ「REAL」に搭載

映画、韓流ドラマをはじめアニメ等のコンテンツを好きな時に携帯やテレビで、購入・視聴ができる「GIGA.TV」が、三菱液晶テレビ「REAL」に搭載されました。携帯払いも可能なため、クレジットカード番号等の入力の手間がいらぬ便利なサービスです。



## FINANCIAL HIGHLIGHTS 業績ハイライト

「簡単・安全・便利」に決済ができる電子マネー「WebMoney」の決済額が伸長し、高い成長力を牽引。グループの拠点および事業の集約が功を奏し、利益率も大幅にUP。

### 連結売上高 >>>

(単位：百万円)



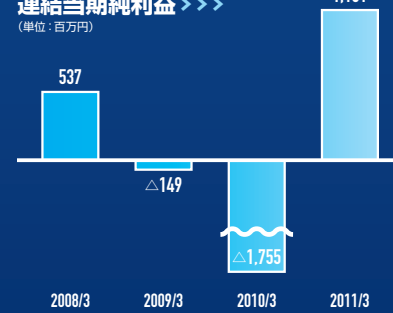
### 連結営業利益 >>>

(単位：百万円)



### 連結当期純利益 >>>

(単位：百万円)



## 事業別の概況

### コンテンツ事業の状況

**売上高** 7,395百万円(前期比：20.7%減)  
**営業利益** 647百万円(前期比：1,919.8%増)

着信メロディ事業の市場縮小を受け、減収。利益はグループ再編・統合の結果、大幅増益。

- 東宝株式会社等と製作の映画「告白」が大ヒット
- 新レーベル「Future」を開始し、AKB48からの新ユニット「Not yet」がデビュー
- コレクション性の高いカードから関連サイト等へ誘導する「コネクティングカード」を開始。「Not yet」のシングルに初回購入特典として同封
- 新たな映像配信サービス「GIGA.TV」を開始、三菱液晶テレビ「REAL」の新モデルに業界初の搭載
- 1枚の地域共通診察券で複数の医療機関での受診が可能となる地域共通診察券「すこやか安心カード」のサービスを開始

### 電子マネー事業の状況

**売上高** 75,165百万円(前期比：62.6%増)  
**営業利益** 1,298百万円(前期比：91.1%増)

オンラインゲームの拡大とソーシャルゲームの決済額の伸長により、大幅に増収増益。

- ウェブマネー、CM動画配信サービス「manna(マナ)」に、ニュース視聴やSNS機能等、新たな機能を追加
- キャリア課金以外の決済手段として初めて、「WebMoney」が、携帯公式サイト「GIGAエンタメロディ」、「GREE」で利用可能に
- DeNA、GREEでの使用が急伸

## STRATEGY FOR MANAGEMENT

経営戦略Q&A  
当社グループの現在と今後の展開

## 次なる成長のステップを見据えた マルチコンテンツ& マルチプラットフォーム戦略を推進。

情報端末の多様化+新コンテンツの登場で混沌とする中、方法・方式に縛られず、マルチデバイスに通用するコンテンツの流通のしくみ創りを推進します。

平澤 創



Q 2011年3月期の振り返りをお願いします。

「ゼロから有を生む」コンテンツの創造において大きな成果を得た1年に。

まず、日本コロムビアとの共同事業の第一弾として音楽レーベル「Future」を新規に立ち上げ、人気グループAKB48からの派生ユニット「Not yet」がデビューしたことが大きなトピックスになります。派生ユニットは成功しない例が多い中、ユーザーへ音楽

との接点を多面的に提供する「360°戦略」が功を奏し、オリコン初登場第1位、史上初の女性アーティストによる配信初日3冠\*獲得など、非常に価値があるスタートを切れたと認識しています。特に、アーティストとユーザーを1対1でつなぐ「コネクティングカード」の効果は大きく、新しいコンテンツ流通のしくみの確立・導入といった面でも大きな一歩を踏み出せたと思っています。また、共同製作の映画「告白」が大ヒットし、日本アカデミー賞の最優秀作品賞・最優秀監督賞等の受賞をはじめ米国アカデ

ミー賞・外国語映画部門の日本代表作品に選出されるなど、コンテンツ創造の源泉である「ゼロから有を生む」部分で、大きな成果が得られた、そういう1年になったと思っています。

Q マルチプラットフォーム戦略の分野ではいかがでしょうか？

「VIDEMO (ビデモ)」や「GIGA.TV」などの新サービスを開始しました。

流通のしくみの面では、大きく2つ、新

\*3冠 着うた\*、着うたフル\*、RBT (リングバックトーン)

サービスの提供を開始しました。

ひとつは、急速な市場拡大が進んでいるスマートフォンに対応した動画ポータルアプリ「VIDEMO(ビデモ)」による有料コンテンツの配信です。

もうひとつが、新しい映像配信サービス「GIGA.TV」です。「GIGA.TV」は、携帯での視聴だけでなく、携帯で購入したコンテンツの権利情報をテレビのリモコンのように赤外線を送信することにより、テレビ画面でもコンテンツを楽しめるサービスで、すでに三菱電機(株)の液晶テレビ「REAL」の新製品シリーズに搭載されています。テレビ向け映像配信サービスは、これまで視聴要望は高いものの、クレジットカードの情報を入力する手間や抵抗感などから、ユーザー数が伸び悩んでいました。この携帯を介した決済方法は、簡便かつ安心な決済方式であり、テレビ向け映像配信サービス市場の拡大に大きく貢献できると見込んでいます。今後もテレビをはじめとする日本が強みを持つ家電分野との連携を図りながら、さらなる利便性を追求したオンデマンド配信サービスを強化していきたいと考えています。

#### Q 上流工程の位置づけとなるコンテンツ制作に注力する理由は?

ワンストップソリューションの新しいしくみづくりには、優良なコンテンツ創造の担い手であることも重要です。

インターネットが浸透した現在、お客様とダイレクトにつながる場面が非常に増えてきます。そうした中、コンテンツを創造するメーカー機能をビジネススキームの中

に持つことで、マーケティング、セールスとともに、よりダイレクトかつ迅速に対応することができる、という点がポイントです。例えば、先程お話ししたユーザーとダイレクトにつながる「コネクティングカード」は、流通に関与していないメーカー単独では、生まれなかった発想であり、コンテンツ流通の川上から川下まで、一貫して提供するスキームを持っているフェイス・グループならではのシナジーが発揮された展開だと

自負しています。

また、優れた流通システムを築くには、様々な企業と互いに価値を見出し合い、相互乗合し、豊富なコンテンツを取り揃えるということも重要であり、メーカー機能を有することは、他のコンテンツメーカーと同じ土俵の上で対等な会話ができるというメリットも生み出します。そうしてメーカーと流通がともにwin-winの関係築くことは、文化の創造・育成・継承において大き

既存の枠にとらわれない新時代のサービスや  
ビジネスモデルの創出を推進しています。



な役割を果たすことになり、持続的成長を目指す企業として、絶大なる価値があることだと考えています。

#### Q 2012年3月期に注力される施策について教えてください。

グループの協業シナジーを發揮して、新たな「しくみ」の発信を続けます。

2012年3月期は、よりダイレクトにお客様の声を反映する試みに取り組んでいこうと考えています。まず2011年8月にショールーム「FUTURE SEVEN」を東京オフィスの1階にオープンさせる予定です。音楽文化の発信基地と位置付け、実際の主体者となって音楽コンテンツの源泉である「ライブ」を開催し、定期的にネット配信するほか、他にもグループで保有する様々なソリューションを組み合わせ、新たなコンテンツやしくみを創出していく計画です。

流通面では、CDから配信へと音楽の販売形態が移行する中、次なる音楽配信のし

くみ創りに着手しています。また、SNSなどのコミュニケーションツールが次々に登場する時代でも、人は、直接会い、話をしたいという欲求は消えません。そうしたアナログな接点を組み込んだ、ユーザーをつなぐ新たなしくみの構築も進めていきます。

加えて、有象無象に蓄積された情報の中から、自分が欲するものに辿りつくためには、情報を厳選していくという編集作業が必要になってきます。そこで、配信のしくみを作るだけでなく、「提供の仕方」「情報の整理の仕方」も合わせて提供することに重きをおき、様々な編集の切り口をマトリクス的に組み合わせ、新たな形での「届け方」の提供にも力を入れていきます。

#### Q 最後に株主様へメッセージを。

過渡期の真ただ中にある今、3~5年後を見据えた戦略を実行し、確実な成長を目指します。

今や3~5年後には、テレビとパソコン

の棲み分けすらなくなるのではないかと、そんな時代に突入しています。世界中で様々な可能性が提案され、今後、何が主流になっていくのか、あるいは、本当に便利になるのか、あらゆる意味で混沌とした時代です。それは、逆にいえば、試みは無限に広がるということでもあります。そうした状況を踏まえ、フェイス・グループでは、次のステップに向け、ひとつの方法・方式に縛られず、音楽コンテンツをコア・コンピタンスに、マルチデバイスに通用するマルチコンテンツ&マルチプラットフォーム戦略をより力強く推進していく考えです。

足元でやるべき取り組みは多く、また領域が大きいと、短期的には厳しい業績となる可能性はありますが、3~5年後には、事業領域・事業規模ともに株主様の期待を超えた拡大を成し遂げていけるよう専心していきます。今後も引き続き、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

**連結貸借対照表** (単位:百万円)

科目	当期 2011年3月31日現在	前期 2010年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>21,373</b>	17,256
固定資産	<b>11,352</b>	12,701
有形固定資産	<b>2,893</b>	2,916
無形固定資産	<b>806</b>	1,860
投資その他の資産	<b>7,652</b>	7,924
繰延資産	—	4
資産合計	<b>32,726</b>	29,963

科目	当期 2011年3月31日現在	前期 2010年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>16,764</b>	15,108
固定負債	<b>1,417</b>	1,869
負債合計	<b>18,182</b>	16,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>12,831</b>	11,764
資本金	<b>3,218</b>	3,218
資本剰余金	<b>3,708</b>	3,708
利益剰余金	<b>6,556</b>	5,489
自己株式	<b>△ 651</b>	△ 651
その他の包括利益累計額	<b>66</b>	92
少数株主持分	<b>1,647</b>	1,129
純資産合計	<b>14,544</b>	12,985
負債純資産合計	<b>32,726</b>	29,963

**連結株主資本等変動計算書** (単位:百万円)

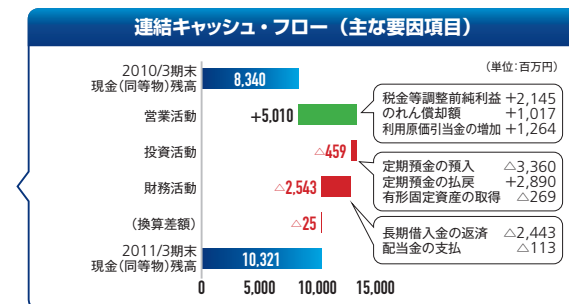
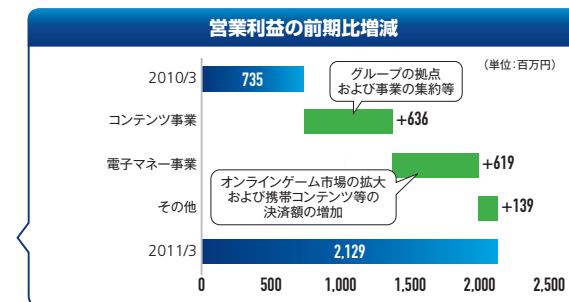
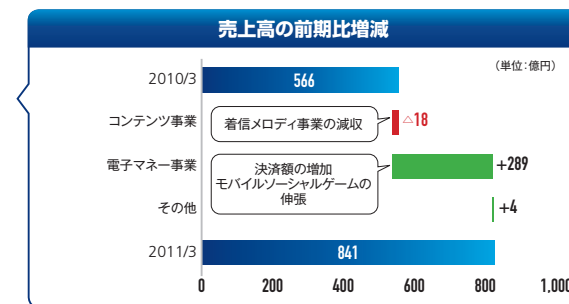
当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
2010年3月31日残高	3,218	3,708	5,489	△ 651	11,764	292	△ 200	92	1,129	12,985
当期変動額										
剰余金の配当			△ 114		△ 114					△ 114
当期純利益			1,181		1,181					1,181
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△ 24	△ 1	△ 25	517	491
当期変動額合計	—	—	1,067	—	1,067	△ 24	△ 1	△ 25	517	1,558
2011年3月31日残高	3,218	3,708	6,556	△ 651	12,831	268	△ 201	66	1,647	14,544

**連結損益計算書** (単位:百万円)

科目	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	前期 2009年4月1日～ 2010年3月31日
売上高	<b>84,191</b>	56,634
売上原価	<b>73,335</b>	46,667
売上総利益	<b>10,855</b>	9,967
販売費及び一般管理費	<b>8,726</b>	9,232
営業利益	<b>2,129</b>	735
営業外収益	<b>194</b>	96
営業外費用	<b>110</b>	204
経常利益	<b>2,213</b>	627
特別利益	<b>26</b>	907
特別損失	<b>94</b>	2,430
税金等調整前当期純利益	<b>2,145</b>	△ 895
法人税等	<b>463</b>	747
少数株主損益調整前当期純利益	<b>1,681</b>	—
少数株主利益	<b>499</b>	112
当期純利益	<b>1,181</b>	△ 1,755

**連結キャッシュ・フロー計算書** (単位:百万円)

科目	当期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	前期 2009年4月1日～ 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>5,010</b>	4,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 459</b>	△ 6,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>△ 2,543</b>	△ 406
現金及び現金同等物に係る換算差額	<b>△ 25</b>	△ 26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<b>1,980</b>	△ 2,308
現金及び現金同等物の期首残高	<b>8,340</b>	10,649
現金及び現金同等物の期末残高	<b>10,321</b>	8,340





## COMPANY OVERVIEW / SHAREHOLDERS INFORMATION

### 会社概要 / 株式情報

#### 株式会社フェイス (2011年3月31日現在)

事業内容	コンテンツ配信プラットフォームの開発 およびビジネスモデルの構築
設立	1992年10月9日
資本金	32億1,800万円
上場取引所	東証一部
従業員数	111名 (連結233名)

#### 取締役および監査役 (2011年6月29日現在)

代表取締役社長	平澤 創
取締役	佐伯 浩二
取締役	小清水 勝
取締役(社外)	樋口 泰行 (日本マイクロソフト株式会社代表執行役社長)
監査役(常勤)	清水 章 (公認会計士)
監査役(常勤)	土屋 文男 (新任)
監査役	土山 彰子
監査役	菅谷 貴子 (弁護士)

※樋口泰行は、社外取締役であります。  
※土山彰子、土屋文男を除く監査役2名は、社外監査役であります。

#### アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

島田 精一	日本ユニシス株式会社 特別顧問 財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員 国立大学法人千葉大学経営協議会 委員 学校法人東京理科大学 特別顧問 学校法人根津育英会 評議員 武蔵学園後援会 副会長 財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員 社団法人日伊協会 評議員 日本ヴェルディ協会 理事
南部 靖之	株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表
堀 裕	堀総合法律事務所 代表弁護士 内閣府 公益認定等委員会 委員 日本年金機構・文部科学省大臣官房総務課・日本郵政グループ (ゆうちょ銀行・郵便局会社等) 各顧問弁護士 みずほグループ各社 顧問弁護士 国立大学法人千葉大学 理事・副学長
村瀬 清司	株式会社損害保険ジャパン 顧問

#### 株式状況

発行可能株式総数	1,990,000株
発行済株式総数	1,196,000株
株主数	15,508名

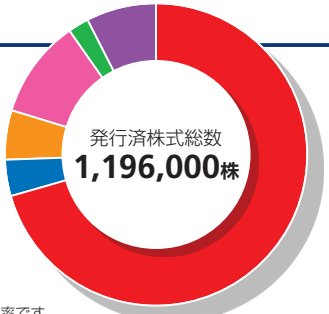
#### 大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	470,821	41.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	55,446	4.82
ゴールドマンサックスインターナショナル	39,519	3.44
吉本興業株式会社	20,687	1.80
ドイチェンバンクアーゲーロンドンビービー ノントリティックライアンスツ613	18,321	1.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,784	1.37
田中 治雄	14,405	1.25
大阪中小企業投資育成株式会社	9,800	0.85
日本証券金融株式会社	7,758	0.67
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,383	0.55

※当社は自己株式(47,950株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
※持株比率は自己株式(47,950株)を控除して計算しています。  
※持株比率は表示単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

#### 所有者別分布状況(%)

個人・その他	70.59
自己名義株式	4.01
その他法人	5.31
外国法人等	10.54
証券会社	2.06
金融機関	7.49



※発行済株式総数1,196,000株の構成比率です。  
※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しております。  
※構成比率合計を100%に調整するため、「その他法人」の構成比率表示単位未満の端数は切り捨てております。

#### 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)	
同連絡先	
公告方法	電子公告

<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>

ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

#### お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)



## Faith IR Mail

フェイスの最新情報をお届けします。

●IR関連情報をE-mailで無料配信しております。

●プレスリリース等を発表とほぼ同時に、月に2~3回程度の頻度で送信申し上げます。

[ご登録はこちらから](#)

<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html>

#### 免責条項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



## 株式会社フェイス

〒604-8171 京都市中京区烏丸通御池下  
虎屋町566-1 井門明治安田生命ビル  
URL <http://www.faith.co.jp/>  
お問合わせ先  
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833